

[広報]

SAMEGAWA

PUBLIC RELATIONS SAMEGAWA

今年はうし年、
ゆっくりでも
確実な一歩を



[新春対談] 関根村長 × 星議長 × 武藤教育長

これからの村づくり
目指す未来に向けて



ぼく・わたしの夢 [第59回] 鮫川小6年生

蛭田 真歩さん

渡辺 美悠さん

水野 紘さん

美容師に なりたい

私の将来の夢は、美容師です。それは、美容師さんにかみを切ってもらおうとしても気持ちがよく、新しい自分になれるからです。私は、自分のかみを結ぶのが大好きです。うまく結べるようにいつも練習しています。将来美容師の仕事についたときお客さんにも笑顔に、そしてうれしい気持ちになってもらいたいです。夢に向かって毎日の勉強もがんばりたいです。

教科で一番 頑張りたいこと

私が特に頑張りたい教科は国語です。理由は、将来、国語を使う時がたくさんあるからです。苦手を克服するために文章問題の学習を頑張っています。大人になっても文章を読む力は必要になるので、頑張りたいです。中学校に入ってから特に文章問題のテストに向けて、授業や自主学習に集中して取り組み、力をつけたいです。

トリマーの仕事 に近づきたい

私の将来の夢は、トリマーになることです。なぜなら、私は犬やねこが好きだからです。トリマーは犬の毛を切ったりシャワーを浴びさせたりします。犬も毛を切ったりシャワーを浴びたりすると気持ちがいいと思うし、犬にも喜んでもらいたいです。なので、これからは犬の本を読んだり、犬の種類をもっと知ったりして、トリマーの夢をかなえたいと思います。

これからの村づくり 目指す未来に向けて

明けましておめでとうございます。2021年の年頭にあたり、関根村長、星議長、武藤教育長の3人に2020年を振り返っていただくとともに、これからの村づくりを語っていただきました。



武藤 誠 村教育長

MUTOH Makoto

村長 道路や橋を作るなどのいわゆるインフラ整備に比べて、教育や人材育成などの目に見えないところにかに目を向けるか、というのはいが村にとって大事なことです。

議長 私も議員として以前、一貫教育について質（た）してまいりました。当時からもう少子化傾向があり、早く手を打たないといけないという思いがありましたので、ぜひ実現させてほしいですね。

私は、将来的には9年間の義務教育期間を見通した連続した教育を実現したいと考えています。そして、地域の人たちと学校が一体となって子どもたちを育てていくような教育を目指して頑張っているところです。

村長 目標とする「村民主体の村づくり」は、村民がいかに村づくりに参加するかが課題です。行政任せとか議会任せではなくて、やはり自分たちの地域のことは自分たちで立案していただきたい。そのための手段として、地域には議員さんや区長さんもいますから、進んで相談をしていただきたいんです。我々も皆さまのご意見を聞いて、どうやったらいい村になるかを議論のテーブルに乗せていかなければならないと思っています。

議長 そうですね。そして一貫教育の9年間でふるさと鮫川が大好きという気持ちと、大人になっても村を想ってくれる人を育てていきたい、という思いは強いですね。

規模が小さい村であればこそ、質の高い教育ができるのではないかと思います。



星一彌 村議会議長

HOSHI Kazumi

星一彌議長（以下、議長） 私たち議員は、先輩方や子ども

2020年は新型コロナウイルス感染症の流行など、多難な時期だったかと思えます。皆さんは振り返ってどんな年だったでしょうか。 関根政雄村長（以下、村長） 新型コロナウイルスでは年度の始めから村政や産業ばかりでなく地域活動への影響も大きく、次々と対応に追われ大変な時期もありました。その中で私の励みとなったのは副村長と教育長の就任でした。また、特別職の2人だけではなく議員さん、そして村民の皆さまに支えられたお陰でここまでやってこれたと思っています。

そして、昨年はスポーツ・文化関係で子どもたちや若者がたくさんの実績を残しています。市町村対抗ソフト大会でもいわき市を相手に初回こそ点を取られました。後、後はしっかり抑えていきました。こういう「最後まであきらめないぞ」という村民性は私にとっても大きな励みになりました。新型コロナウイルスは大きな試練となりましたが、それに対し村民は絶対負けないぞという強い信念を蓄えることができた1年だったかなと思います。



関根政雄 村長

SEKINE Masao

さん、そして村民との触れ合いを常に求めてまいりました。ところが今年にはコロナという状況で、私自身も外出を控えざるを得ないことから、むしろ議長としての役目を果たせなかつた部分もあつたのではと感じています。そういった状況のなかで、私が直接村民の皆さまのお顔を拝見できる場はゲートボール大会しかなくなつたんですね。ゲートボール大会ではたくさん力を与えていただきました。 また、ふくしま駅伝をはじめスポーツ分野でも村民が活躍してくれました。他の市町村からすれば決して多くない人口でも輝くだけの戦績を残せたというのは、村民の培われた粘り強さ「鮫川魂」が大きいと思います。こういった子どもさんの芽を閉ざすことなく、伸ばしてやらなければなりません。

議長 私は一貫して「活力ある村づくり」を目指してやってきました。例えば村に会社や工場がなくたって、村に住んで勤められる環境づくりを進めれば、ある程度人口も定着するのかな、という考えです。 空き家などを活用した移住施策だけでは、やはり村に働く場所や環境的な問題があるから厳しい。人口が少なくなつても活力ある鮫川村民でいられる村づくりに努力したいと思っています。 今はコロナに振り回されています。

もう少し村の抱えているものをスリム化したうえで、継続事業と新規事業にきちんと力を入れていきます。もちろん収入も見込み、ふるさと納税にも力を入れているところです。

す。今年は特に若い人たちの意見がほしいんですよ。 村の財政が一段と厳しくなる中で、皆さんからの発案と、村を守っていくという意識がこれからの村づくりの基本となります。自助・共助・公助の精神で、まずは「我が家でやらなきゃならないことは我が家でやる」。それでもできないことは、地区と村が支えることとなります。

村長 コロナ禍の今のうちに村づくりの考えを整理する。その時が来たらずきに動き出せるというような準備期間と捉えていきたいですね。 村では今年、待望の宿泊施設がオープンします。国道289号の開通も予定しており、これから付加価値の高い村になり得ると思っています。

議長 私は4月に就任しました。村の教育行政に携わるのは初めてでしたので不安もありました。皆さまに支えられてやってこれたのかな、と思っています。4月22日から学校が再び休校となり、そこから一か月近く休みという異例の年となりました。それでも大きな問題もなく子どもたちが家庭でしっかりと生活し、学習できたのは、子どもたちが今まで学んだことを活かしたことで、お家の方々の協力、そして先生方の適切なサポートがあつたからだと感じました。

武藤誠教育長（以下、教育長） 私は4月に就任しました。村の教育行政に携わるのは初めてでしたので不安もありました。皆さまに支えられてやってこれたのかな、と思っています。4月22日から学校が再び休校となり、そこから一か月近く休みという異例の年となりました。それでも大きな問題もなく子どもたちが家庭でしっかりと生活し、学習できたのは、子どもたちが今まで学んだことを活かしたことで、お家の方々の協力、そして先生方の適切なサポートがあつたからだと感じました。 また、今年にはコロナの影響でいろいろな行事が中止になりました。しかし、関係する皆さんの努力で運動会やお遊戯会、学習発表会、文化祭などをなんとか実施することができました。子どもたちの活躍する様子を見て、困難を乗り越えてよくあそびまで表現できたなと感じ、涙が出ました。本当に大変な時期ではありましたが、そんな状況に立ち向かい乗り越えたことは、これから大きな力になっていくと思います。 2021年のスタートにあたりこれからの村づくりについて教えてください。

教育長 今年は村長の公約の1つ

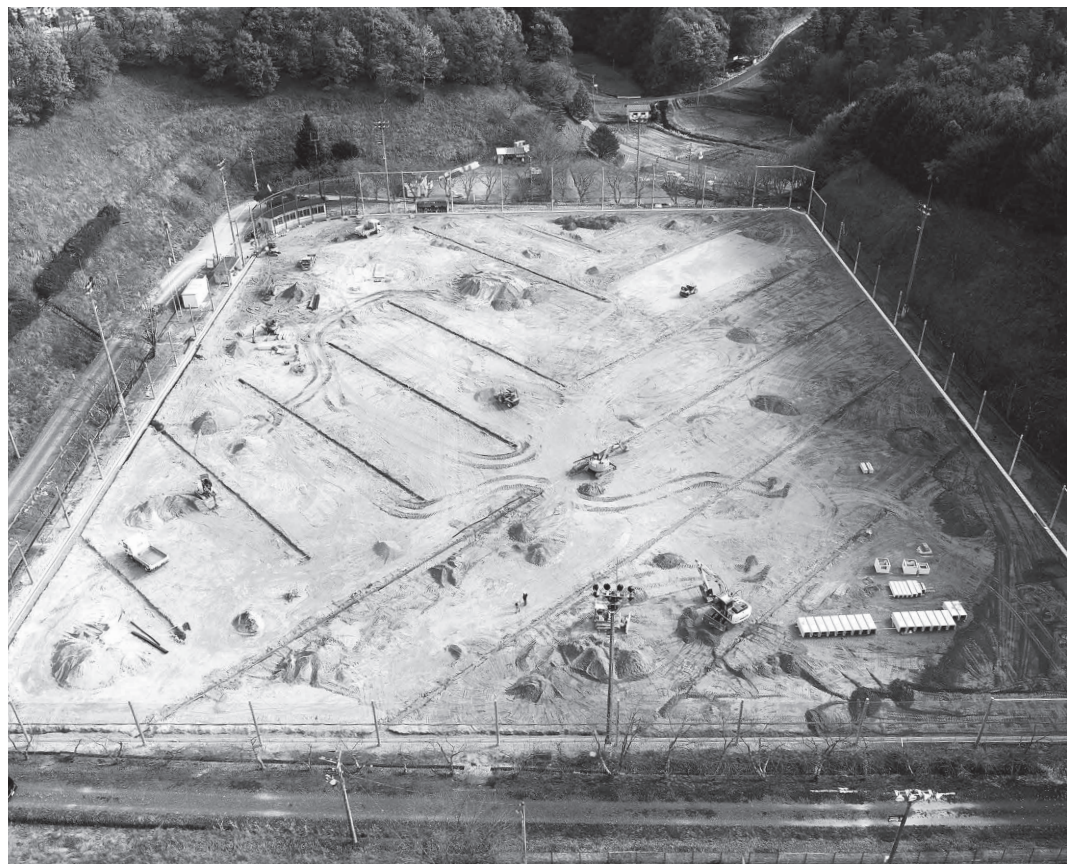
生まれ変わる、新しいグラウンドへ

より安心・安全に利用できる施設に向けて
村青少年広場の改修工事が進んでいます。
排水・土質の改善、照明のLED化、防球ネット
の設置。——利用開始は2021年4月予定です。

総工事費1億円超の大規模改修

村青少年広場（宿ノ入）の改修工事は2021年3月末までに完成を迎える見通しです。総事業費1億6,324万円（うち1億円はスポーツ振興くじ助成金）で行われる大規模改修の目玉は「排水・土質の改善」「ナイター照明のLED化」「防球ネットの設置」の3点です。

昭和61年に整備され30年以上が経過した同施設は、小中学校や社会人の野球チーム、ソフトボールチーム、駅伝チーム、グラウンドゴルフの団体などが利用していますが、以前からグラウンド状況の悪化に苦しんでいました。「雨が降



令和2年11月11日現在の工事状況（ドローン撮影）

る度に砂が流されてしまいグラウンドはいつもでこぼこ。自分たちで毎回砂を運び固めて何とか使っているが、でこぼこにつまづくこともあり安全面でも不安があった」と利用者からの声がありました。

安心して使えるグラウンドへ

この工事では、まずグラウンドの水はけと平らな地面を確保するために、全体に暗きよ管を設置し、土には排水・保水に優れた特殊素材AQクレイを混ぜてグラウンドの土質の改善を施しました。

そして、夜間でも施設を明るく安全に使えるようにするため、新たに照明柱を2本加え、既存の照明の更新も含めた全52灯のLED

照明を整備しています。
さらにグラウンドを囲う高さ1〜3メートル柵を5〜8メートルの防球ネットとし、車や行人の安全面にも配慮した作りとしました。

施設の委託管理を任されているさめがわスポーツクラブの阿久津光市さんは「良い土が入ったのでコンディションはもう大丈夫だろうと安心していきます。せつかくの



さめがわスポーツクラブ 阿久津 光市さん

良質なグラウンドですから、長く使うためにも団体の皆さまには利用方法を守って大切に使うてほしいですね。スポーツクラブとしては隣接の村民グラウンドと連携させながら皆さまが楽しくスポーツできる環境整備にこれからも努めていきたいと思えます」と新しいグラウンドに期待を寄せます。

一般開放は2021年4月から

村教育課では昨年11月に工事見学会を実施し、3月28日にはオープニングセレモニーも予定しています。今後は青少年広場を会場とした大会の誘致などにも力を入れ、スポーツを通じた交流人口の拡大と経済の活性化に期待したい担当者は話します。

新しい青少年広場の一般開放は2021年4月1日から。利用を希望する団体は、利用の5日前までにさめがわスポーツクラブ（村農業者トレーニングセンター内）に申請してください。村内の団体は4月までに減免申請をすれば無料で施設利用をすることができます。

☎ 村教育課 49-3151



11月14日にキャリア教育の一環として村内の小中学校の野球部を対象に工事見学会が実施されました。立派な施設に生まれ変わろうとするグラウンドを見た子どもたちは「たくさんの方が工事に関わっていることを知って感動した」「大切にしたい」など感想を話しました。

VOICE



「早く使ってみたいです」

西山ソフトボール 松崎 友騎さん



「ピカピカのライトが楽しみ」

スポ少野球部 石井 結大くん



「良い環境で練習させたい」

スポ少野球部監督 石井 文也さん

子どもたちが広いところで練習できることはもちろんですが、雨の後もすぐに乾いて使えるようになると嬉しいですね。夜も照明が明るくなればやれる練習も増えるのでとても期待しています。

新しい青少年広場はライトがピカピカだと聞いてとても楽しみです。前は地面もボコボコしてたので、平らになっていると嬉しい。今は人数は多くないけどみんな楽しく野球ができればと思います。

グラウンドの水はけが良くなるだけでも全然違うと思います。環境が良いと練習にも力が入るんじゃないかな。雨の後もすぐ使えるようになれば練習回数を増やせそうですし、早く使ってみたいです。

INTERVIEW



村教育委員会教育課 生涯学習係長 石井 洋平

青少年広場は、今回の工事で東白川郡内でも有数の設備を備えた運動施設に生まれ変わります。スポーツは子どもから大人、高齢者まで年代を越えて楽しめる活動です。今後、スポーツを通じた交流事業の中核を担う施設として、地区大会の誘致やスポーツ教室の実施などさまざまな運用をしていきたいと思っています。

生まれ変わったグラウンドは野球やソフトボールだけでなく、陸上競技やサッカーなど多様な使い方ができる環境になっています。特定のスポーツに限らず、村民の皆さまが主体となり、活用できるアイデアがあればどんどん提案してほしいです。スポーツ推進員さんをはじめ、私たち教育課とスポーツクラブが連携して皆さんの活動を支援していきますので、ぜひ一緒に新しい、夢のある青少年広場を作っていきましょう。



↑飛行機に向けて「ありがとう」と声をあげて手を振る園児
→上空に描かれたスマイルマーク(写真は東白川青年会議所提供)

青空に描かれたスマイルマーク

東白川青年会議所40周年記念事業

一般社団法人東白川青年会議所は、12月9日、40周年記念事業「Fly for ALL ～大空を見上げよう～ in 東白川」を実施し、パイロット室谷義秀氏によって館山の上空に大きなスマイルマークが描かれました。館山公園に見学を訪れた人は大きなスマイルに歓声をあげて、笑顔いっぱい手を振っていました。



県知事が地域の現状を聴く

ファームつばさを視察「チャレンジふくしま訪問」

12月15日、内堀雅雄県知事が「チャレンジふくしま訪問」の一環でファームつばさ(葉貫)の視察に訪れました。これは知事が県内で活動している団体を直接訪問し、現場の声を聴くことを目的とした事業で、代表の清水大翼さんとともに牛舎やパドックを見学して回りました。見学後、2人は現在の飼育や出荷の状況のほか放牧の課題などの話をしました。



パドック前で牛と触れ合う内堀知事と清水さん



関根村長(右)に答申書を提出する星一彌会長(左)と矢吹秋男副会長(中央)

「つながりで支え輝く村づくり」

第4次振興計画後期基本計画審議会から答申書提出

鮫川村第4次振興計画後期基本計画審議会(星一彌会長)は12月21日、答申書を関根村長に提出しました。星会長は「難しい状況ですが村民の期待に応える計画にしたい」と取りまとめた意見を村長に託しました。第4次振興計画の計画期間は令和6年度まで。後期基本計画では前期での課題を踏まえた、今後の村づくりの方針が示されています。

午後4時になります…。

冬休みの声は鮫川小6年生

冬休み期間中の夕方に流れている防災無線の放送は、毎年小学生がアナウンサーを務めています。今回の「声」を担当しているのは鮫川小6年の矢吹颯唯さんと関根成吾くん、江田紗羽さん、水野紘さんの4人です。12月16日、役場放送室で録音を終えた4人は「村全体に流れるから緊張しました」と話し、一安心した様子でした。



録音を終えて思わず笑顔がこぼれる児童たち



受賞を喜ぶ大樂勝弘さん(左)と憲子さん(右)

4期16年の功績を称えて

大樂勝弘前村長が旭日双光章を受章しました

秋の叙勲の伝達式は11月30日、杉妻会館(福島市)で行われ、県内の受章者16名が集まりました。村からは前村長の大樂勝弘さん(大塩)が旭日双光章を受賞しました。大樂さんは平成15年から4期16年に渡り村長を務めるなかで「豆で達者な村づくり」を掲げ、大豆、えごま栽培を推進するなど主に高齢者の生きがいづくりに尽力してきました。

効果音や音楽を交えた紙芝居

おはなしポケットによる読み聞かせ集会

おはなしポケット(須藤幸子代表・会員7名)は、子どもたちが無理なく多くの本と触れ合えるようにと、鮫川小学校で毎週火曜日の朝に絵本の読み聞かせを行っています。11月26日、27日には「読み聞かせ集会」を実施し、紙芝居を披露しました。会員の優しい声色や臨場感ある演出に子どもたちは目を輝かせて聞き入っていました。



会員それぞれが配役を決めて紙芝居の声を担当したほか、作品によっては音楽や効果音を交えた演出も披露しました



「わらしべ長者」「そらまめくんのベッド」などの演劇を大きな声と動きで披露する子どもたち

練習の成果を元気に発表

こどもセンターお遊戯会

さめがわこどもセンター幼稚部のお遊戯会は12月5日に実施されました。クラスごとに劇の発表があり、元気いっぱいに役を表現する子どもたちの姿が見られました。歌や合奏だけでなく、鉄棒や跳び箱などの得意技も披露されました。成長した子どもたちの姿に大きな拍手が送られ、演技を終えた子どもたちは、満足の笑みを浮かべていました。

「大きく育て」と願いを込めて

館山公園で卒業記念植樹

鮫川中学校3年生と鮫川小学校6年生が、12月4日に館山公園で卒業記念植樹を行いました。水野春雄さん(宿ノ入)と岡部啓一さん(大塩)の指導で4本のオオヤマザクラの苗木を植えました。この桜の花が咲くまでには2～3年かかります。児童生徒はこの場所での再会を誓いました。



ふるさとに生まれ育った証を残しました(鮫川中3年生)

鮫川職場探訪記

- 第42回 -

さめがわ豆新聞社

代表 高木千春

所在地 大字赤坂中野字薄ケ久保9

☎57-5017



夏季にはバイクで配達するなどして、家族が丸となって事業に取り組んでいます

鮫川村で初めての新聞社

鮫川村初の新聞としてさめがわ豆新聞は2020年1月6日に創刊しました。発行は月曜日と木曜日の週2回。密着地域紙として村政のことや地域の出来事だけでなく、地元の風習や方言などを取り上げる企画なども発信し、現在350の世帯に読まれています。

「目指しているのは新聞と雑誌を融合したような紙面。写真を大きく載せたり、地元の人々の表情や声をできるだけ取り上げたりして、読んでいる人が臨場感を感じられるように工夫しています」と、代表の高木千春さんは話します。

創刊から一周年を迎えて

新聞の仕事は情報収集から始まり、取材の前準備（下調べ）、取材・撮影、記事作成、紙面レイアウト、印刷、配達と郵送、そして広告の営業から経理まであります。配達には家族総出（一部配達員）で行いますが、それ以外を高木さん一人で行っています。「風邪をひいても休めないで、この1年間で体調管理には特に気をつけるようになりましたね。大変な時もありましたが、いつも記事を楽しみに待っている人、応援してくれている人がいることがとても励みになりました」と高木さんは振り返ります。



自宅でパソコンに向かい編集作業を行う高木さん。机周りには取材用の資料が並びます

より地域に密着した新聞に

新聞社という村の中でも初めての取り組みに高木さん自身、手探りの部分が多く、まだやりたいことがあるそうです。「時間と体力が追いつかなくて、毎日があっという間に過ぎていきます。地元で自分の好きな仕事ができるというのは本当に幸せなこと。そういうステージに立たせてくれた村民の皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。今年はずっと地域に入って取材ができるよう一層頑張りたいですね」と高木さんにはっこりと笑いました。



1年間で発行した新聞は95紙になりました。

農業は飽きることはありません。毎年同じことをしているのですが、失敗したり、新しい発見があったりするからです。日々、反省と勉強の繰り返しです。

ものを育てることはとても楽しく、面白いと思います。水稲、野菜、家畜、花木などいろいろありますが、どれにしても種を蒔きます。そして、芽が出れば嬉しいし、成長すればどんな花が咲き、どんな実をつけるかいつも楽しみです。

家畜も同様です。生まれたばかりの子牛はピロッドのような毛並みをしており、まるでぬいぐるみのようでとてもかわいいものです。手塩にかけて育てた子牛を手放すときは涙

村民【随想】リレー — (270)

根本 京子さん

農業一筋 グリーンバー

がこぼれます。

花木は四季折々いろいろな表情を見せて日々の楽しみをくれます。そんな日常の中の小さな喜びや悲しみが私の仕事の原動力となっています。

農業という仕事の相手は自然です。環境問題の一つである温暖化は災害をもたらしますが、そればかりではないと私は思います。寒くて上手く育たなかった作物でも今はよく育ちます。枝実や肥料が良いと言えませんが、私はそんな農業が大好きです。

次号は、芳賀文男さん(草木)にバトンタッチ！



ねもと・きょうこ ● 1954年11月生まれ。趣味は風景写真の撮影、野菜作りや花の手入れ。モットーは、健康が一番！毎日ワンコと一緒に散歩を楽しんでいます。西山宇岩野草。66歳。

俳句

強滝や小うなぎ滝を昇りけり
中井 恒峯

猪の被害今年も増すばかり
北條素人坂

大賞に「三密」選ばれ歳を越す
松本 精一

鮫鯨鍋囲む笑顔や箸すすむ
前田 縫子

赤飯と幣束供え秋日和
山本 恵子

もう幾度帰省ことわり年暮れる
鈴木 米子

声高に友「唐人風」抱えくる
斎須 信子

新年を寿ぐ間なしコロナの災
山本五十鈴

短歌

けやき落葉昨夜の風に嵩なして熊
手で掃けば晩秋の奏で
鈴木イミ子

寒空に咲くくらにも鋤き込みぬ寒
肥たつぷりごころうさんと
須藤 幸子

今年また新米いたたく仕合せを味
わう喜び夕餉のひととき
前田喜三子

雪しまく刻を咲きたる冬桜熱く生
きたる夫を重ねる
関根キヌ子

金木犀ひと枝折りて店先に香り漂い
客を迎える
赤坂 和子

触れ合いも笑った絆もコロナ禍に故
郷は遠く収束は何時
矢吹 一二

心より豊かに迎える新年の仄かな
光優しく受けて
北條 平

広報さめがわではみなさんの俳句・川柳・短歌などの作品を募集しています。掲載の相談は村総務課広報担当まで。
村総務課 ☎49-3111

図書館の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
鮫川村図書館 ☎ 29-1150

線は、僕を描く

砥上裕将著、講談社



両親を失い喪失感の中で生きる大学生が、バイト先で水墨画の巨匠と出会い、水墨画の世界へ…。

初めての水墨画に戸惑いながらも、筆先から生み出される「線」の芸術に魅了されていく。

モモ

ミヒヤエル・エンデ著、岩波書店



むかし、町はずれに円形劇場の廃墟がありました。この円形劇場に、ある日不思議な少女モモが迷い込んで住んでいました。町の人たちは、モモと話

していると、幸せな気持ちになりました。ところが、そこへ「時間どろぼう」の灰色の男たちが忍び寄り、人々の時間を盗んでいくのでした。盗まれた時間を人間にとりかえしてくれたモモの不思議な物語で、時間の真の意味を問う名作です。



第3土曜日は
家族一緒に読書の日
←新着図書はコチラ

無利子で資金を貸与 村奨学金奨学生を募集

村教育委員会は、次のとおり鮫川村奨学基金の奨学生を募集します。

募集期間 2月15日(月)～3月31日(水)

応募資格 ▶品行が正しく、学術に優れ、体が強健である▶鮫川村に引き続き5年以上住んでいるか、住んでいたことがある▶高等学校、高等専門学校、大学などに在学または今春入学予定の人▶経済的理由により修学が困難と認められる▶国や他の団体から同種類の奨学金の貸与または給与を受けていないこと

貸与月額 ▶高等学校・各種学校(1～3年)…2万円以内▶高等専門学校…5万円以内(3年までは2万円以内)▶大学院および大学・短期大学・専門学校…5万円以内

貸与期間 令和3年4月から、在学する学校の正規の修学期間

奨学金の償還 ▶貸与は無利子で、卒業後6か月から毎月、10年以内に償還すること(全部または一部を一時償還することができます)▶大学および大学院を卒業後、鮫川村に居住し、農林水産業または保健、福祉、医療の向上を図るための資格を取得し、村内に10年間就業した人は奨学金の返還を免除されます。

奨学生の決定 選考委員会で願書の内容を審査し、奨学生を決定します。

☎村教育委員会教育課 ☎49-3151



申告書作成会場を開設します

白河税務署では、申告書作成会場を開設します。令和2年度分の所得税および復興特別所得税、消費税、地方消費税、贈与税の申告相談を受け付けますのでご利用ください。

日時 2月8日(月)～3月15日(月)
9時～16時 ※土日・祝日除く

会場 白河市産業プラザ人材育成センター2階講堂(白河市中田140)

その他 会場の混雑緩和のため、「入場整理券」配布します。「入場整理券」は、会場での当日配布とLINEアプリによる事前発行があります。当日の入場には「入場整理券」が必要です。配布方法の詳細は、国税庁ホームページなどによりお知らせします。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

☎白河税務署 ☎0248-22-7111(代表)

ひとり親家庭の就職活動をお手伝いします

県南保健福祉事務所では、ハローワークと連携してひとり親家庭向けに就職活動のお手伝いをしています。お仕事についての相談や求人情報の提供、履歴書の書き方、面接の受け方のアドバイスなどを行っています。お電話のみの相談もできますので、まずはお気軽にご連絡ください。相談は無料で秘密は守られます。

☎県南保健福祉事務所児童家庭支援チーム
ひとり親家庭就業支援専門員
☎0248-22-5647

20歳になったら国民年金に加入します

成人式を迎えられる皆さん、おめでとうございます。皆さんにとって「年金」は「まだまだ先のこと」という認識ではないでしょうか。しかし、老後は誰にでも平等に訪れるものです。

日本に住む20歳から60歳までのすべての人は、年金に加入することが義務付けられています。すでに厚生年金保険に加入している人を除き、20歳になった方には日本年金機構から国民年金に加入したことのお知らせ



村成人式の様子(2020)

が送付されます。今年20歳になった方で、誕生日を迎えてから2週間以上経ってもお知らせが届かない場合は、加入手

続きが必要なため役場または年金事務所で手続きをしてください。

保険料の納付が困難な場合 つぎの制度を利用できる場合があります。▶学生納付特例制度…学生の方で、ご本人の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予される制度です。在学証明書または学生証の写しが必要です。▶納付猶予制度…学生でない50歳未満の方で、ご本人および配偶者の所得が一定以下である場合に、保険料の納付が猶予される制度です。

その他 「年金手帳」は別途送付されます。「年金手帳」は年金の手続きや相談の際に必要となりますので、大切に保管してください。

☎村住民福祉課住民係 ☎49-3112 / 日本年金機構白河年金事務所 ☎0248-27-4161

※令和元年10月前に20歳になった方には、国民年金に加入するための手続きの案内が送付されていました。

鮫川村役場

(代表・総務課) ☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

災害時対応電話(停電・災害時)
☎ 49-3302・☎ 49-3303

■開庁時間 平日 8時30分～17時15分
住民票や所得証明書などをお求めて、業務時間内の来庁が難しい人は、事前に電話をいただければ時間外でも対応が可能です。土日祝日の交付はできませんのでご了承ください。

■鮫川村公式ホームページ
<https://www.vill.samegawa.fukushima.jp/>

■電話番号

役場	住民福祉課	49-3112
	農林商工課・農業委員会	49-3113
	地域整備課	49-3114
	議会事務局	49-3115
	出納室	49-3116

教育課・教育委員会

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
鮫川小学校	49-2005
鮫川中学校	49-3101
こどもセンター	29-1010
学校給食センター	49-2113
農業者トレーニングセンター	49-3295

医療・福祉

保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ひだまり荘	49-3600
さざり荘	49-2205

観光・その他

手・まめ・館	49-2556
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
鹿角平観光牧場	48-2010
すまいる	57-6901
ゆうきの郷土	49-3474

心と体をリフレッシュ 元気回復温泉旅行のご案内



家族の介護をしている方。日々の介護から離れ、心と体をリフレッシュさせてみませんか。近場の憧れの温泉旅館に宿泊し、旅行気分を楽しみましょう。

日時 2月18日(木)～19日(金)
※18日14時に村農業者トレーニングセンター上の駐車場に集合

場所 母畑温泉「八幡屋」(石川町)
対象 要介護・要支援に認定されている方の家族(在宅介護、施設介護、サービス利用の有無は問いません) 定員20名

参加費 3,000円
申込方法 1月31日(日)までに地域包括支援センターまたは担当ケアマネージャーにご連絡ください。なお、申し込みが定員になり次第締め切りとなります。

その他 状況により中止となる場合があります。
☎ 村地域包括支援センター ☎ 29-1233

村関係施設の年末年始営業日

	27日 (日)	28日 (月)	29日 (火)	30日 (水)	31日 (木)	1日 (金)	2日 (土)	3日 (日)	4日 (月)
役場	※1	○	※1			○	○	○	○
診療所	休	○	休	休	休	休	休	休	○
図書館	○	休	休	休	休	休	休	休	休
トレセン	○	休	休	休	休	休	休	休	休
手・まめ・館	○	○	○	○	○	休	休	休	○
さざり荘	○	○	○	休	休	休	※2	○	○
すまいる	○	○	※3		休	休	※3	○	○

※1) 8時30分～17時までは、日直が対応します。死亡届など緊急を要するものは受理できますが、証明書などの発行はできません。
※2) 臨時営業をします。利用時間は14時～19時までです。(18時30分までに入館してください)
※3) 9時～17時までの短縮営業になります。

みなさん 村民との対話の日

村づくりや地域づくりは、まずは対話と懇談から…。
村民の皆さまのご意見、ご要望を村長がお聞きいたします。

次回(第15回)対話の日は…1月28日(金)に開催します。
時間 13時30分～18時30分 / 場所 「村民ホール」(正面玄関をに入って右側)

令和3年の年明けとなりました。村民の皆さまにとって、新年にかける「希望や目標」はさまざまあると思われます。

今年も「村民との対話の日」は毎月1回継続して開催する予定ですので、お気軽にご来庁ください。また、ご意見やご要望の内容によっては、各行政区長さん、民生児童員さんなどにご相談されることもおすすめいたします。コロナ禍により、人と人との交流が希薄になりがちですが、村民の皆さまの「村づくりへの意志」をしっかりと伝えることが大切です。「嬉しかったこと」「感動したこと」などの良い情報もお知らせいただければ幸いです。

周 松 政 雄

■ 前回いただいたご意見とご要望 令和2年11月26日(木)

種 別	ご意見とご要望・ご提言	対 応
村営住宅の改善と環境整備	・内装(コンロ台壁、トイレ壁)の改善を願いたい。 ・外の生け垣の竹は処分していいの。 ・屋根の定期的管理をお願いしたい。	▶ 今後の修繕策、維持管理として検討

※ 村民のみなさまからのご意見ご要望は今後の村づくりに反映できるように、今後も協議と検討を重ねてまいります。

第38回 修明高校鮫川校だより
ここから、いっしょに
文・写真/修明高校鮫川校
TEL 49-2029 FAX 49-3109
E-mail shumei-h-samegawa@fcs.ed.jp



中川西拓弥さん
(鮫川中出身)

認知症サポーター養成講座を受講しました。高齢者の疑似体験をしたところ、音は聞こえにくく、視界は狭く濁ったものになっていました。今回の経験から、今まで以上に、高齢者の方々に気配りをして接していきたいと思いました。

【学校コメント】認知症の方や高齢者の方への接し方について理解を深めることができ、大変実りのある講座となりました。生徒たちが認知症サポーターとして活躍することを願います。

寄付・寄贈
11月受理分・敬称略

▶ 社会福祉事業のために[金員]…鈴木利己(草牛) 田子勉(官代) 鈴木大輔(鐘搗堂) 中川西安男(森ノ前) 芳賀敏彦(中山) 藤田智枝子(関口) 鈴木英光(大塩)
▶ ひだまり荘へ[卓上ごみ箱]…石井一代(虹ヶ沢)
▶ その他村長が必要と認める事業のために…齊藤広幸(福島市)
▶ 高齢者の生活、子育てを支援する地域づくりに関する事業のために…羽鳥健司(埼玉県)

お誕生

11月届け出分・敬称略

住所氏名 性別 月日 保護者
 真坂 湯座 瑞結 女 10.27 勇太・真美
 伏木田 塩田 蓮樹 男 11.4 弘樹・玲奈

おく
やみ

11月届け出分・敬称略

住所氏名 月日 年齢
 草牛 鈴木 ナツ 11.1 90歳
 鐘搗堂 鈴木 則男 11.6 71歳
 広畑 矢吹 善信 11.7 82歳
 水口 中川西安正 11.8 88歳
 中山 芳賀 タケ 11.16 94歳
 関口 藤田 文子 11.17 94歳
 大塩 鈴木 英亮 11.20 87歳
 戸草 矢内タツノ 11.21 92歳
 反田 船木 正衛 11.28 85歳

人の
動き

12/1 現在・（ ）は前月比

人口 **3,210**人 (-11)
 男 **1,627**人 (-5)
 女 **1,583**人 (-6)
 世帯 **1,077**戸 (+1)

施設営業時間と定休日

国保診療所	8:30~12:00 土・日 13:30~17:00 祝日
図書館	9:30~18:00 月曜・祝日
農業者 トレーニングセンター	9:00~22:00 月曜・祝日
農産物加工・直売所 手・まめ・館	9:30~18:00 第一・第三 水曜
村民保養施設 さざり荘	10:00~20:00 水曜
村民の店 すまいる	9:00~19:00 土曜日は18:00まで

※新型コロナウイルスの影響により、営業時間を変更する場合があります。

編/集/後/記

■あけましておめでとうございます。昨年はいろいろな行事が中止になるなど厳しい1年でした。新年の表紙はこのような状況から少しでも前進したいという思いで作らせていただきました。会津地方では牛、特に赤べこは疫病よけの縁起物と伝えられているそうです。皆さまにとってこれからの1年が健康、幸せであること願っています。(西橋)

暮らしのカレンダー

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
27 ⑤木村医院(矢祭町) ☎46-3528	28 ⑤診療所送迎 村内全域 ●官公庁仕事納め
3 ⑤深谷クリニック(棚倉町)☎33-3223 ●「手まめ館」臨時休業 ※営業日を6日に振り替えます	4 ⑤診療所送迎 村内全域 ●官公庁仕事始め
第1日曜日は環境美化の日	
10 ⑤車田病院(塙町)☎43-1019 ●成人式	11 成人の日 ⑤おおひら整形外科 クリニック(棚倉町) ☎33-9468 ●消防団出初め式
17 ⑤塙厚生病院(塙町)☎43-1145 ●文化財防火デー火災防御訓練 [中野八幡神社]	18 ⑤診療所送迎 村内全域 ●3~4か月児健診
24 ⑤木村医院(矢祭町)☎46-3528 ●ニュースポーツ大会	25 ⑤診療所送迎 村内全域
31 ⑤あらまちクリニック(棚倉町) ☎33-8018	

① 今月の納税
納期限：2月1日(金)

後期高齢者医療保険(第6期)

④ 村内全域 診療所送迎車運行日 ※予約は前日まで

② 乳保 やまゆり乳児室・保育室 [こ]

③ 筋力づくり教室 [保]

⑥ あおぞら号昼バス運行日

January
1

火	水	木	金	土
29 ⑤診療所送迎 西野・西山	30 ⑤診療所送迎 中野・東石 ⑤大木医院(棚倉町) ☎33-2424	31 ⑤診療所送迎 青生野 ⑤東館診療所(矢祭町) ☎46-2312	1/1 ⑤和田医院(棚倉町) ☎33-2012	2 ⑤大木医院(棚倉町) ☎33-2424
5 ⑤診療所送迎 西野・西山	6 ⑤診療所送迎 中野・東石 ●「手まめ館」営業日 ※定休日ですが3日の 営業を振り替えます	7 ⑤診療所送迎 青生野	8 ⑤診療所送迎 富田・渡瀬 ●幼稚部第3学期始業式 [こ] ●小・中学校第3学期始 業式	9
12 ⑤診療所送迎 西野・西山 ●筋力づくり教室 Aコース[保]	13 ⑤診療所送迎 中野・東石 ●やまゆり乳児室 [こ] ●やまゆり保育室 [こ] ●筋力づくり教室 Bコース[保]	14 ⑤診療所送迎 青生野	15 ⑤診療所送迎 富田・渡瀬 ●小正月だんごさし[こ]	16
19 ⑤診療所送迎 西野・西山 ●筋力づくり教室 Cコース[保]	20 ⑤診療所送迎 中野・東石 ●心配ごと相談会[公] ●やまぶきの会[保]	21 ⑤診療所送迎 青生野	22 ⑤診療所送迎 富田・渡瀬	23
26 ⑤診療所送迎 西野・西山 ●筋力づくり教室 Dコース[保]	27 ⑤診療所送迎 中野・東石 ●筋力づくり教室 Eコース[保]	28 ⑤診療所送迎 青生野 ●1歳6か月児健診 ●村民との対話の日	29 ⑤診療所送迎 富田・渡瀬 ●年長保育参観日[こ]	30

④=休日当番医 [公]=公民館 [図]=図書館 [保]=保健センター [ト]=農業者トレーニングセンター [こ]=こどもセンター

④ 毎月8日は歯の日です
防災無線で虫歯予防を呼びかけます

今月の担当は、
さがわこどもセンターです!

さがわこどもセンター

本郷咲来ちゃん、石井瑠唯ちゃん、関根光優ちゃん、金澤心晴ちゃん、阿久津颯太くん

